

2013年9月10日

京都府知事
山田 啓二 殿

申し入れ書

「京丹後市での米軍Xバンドレーダー基地建設を受け入れないこと」

報道によれば、貴職は京丹後市・経ヶ岬への米軍Xバンドレーダー基地の建設について、京丹後市および府議会の意見を踏まえて受け入れの是非を最終的に表明するとされています。この新しい米軍基地建設は、東アジアの軍事緊張を拡大すると同時に、周辺住民をはじめ府民の生活と安全に大きな悪影響をもたらさざるを得ません。それゆえ、私たちは貴職に対して京都府としてこの米軍Xバンドレーダー基地建設を受け入れないことを強く申し入れるものです。

米軍基地の建設は、周辺住民をはじめとする府民の「安心・安全」に大きな影響を及ぼします。しかしこの問題の重大性はいまだ府民全体、とりわけ京都府南部の府民に対して、十分に周知されてはいるとはいえ、防衛省からも納得のいく説明や情報の開示がなされていません。京都府はまずこの点を早急に改善すべきです。その一環として、京都市内および南部地域において住民説明会を開催することを京都府に対して要請するものです。

周知のように、8月1日の貴職と中山泰・京丹後市長との会談後の8月7日に京丹後市が主催したの住民説明会では、多くの住民より反対意見が表明されました。基地建設予定地とされる宇川地区をはじめ京丹後市においても住民の納得が得られておらず、反対意見が強くあることが踏まえられなければなりません。

多くの人々が懸念しているレーダーが発する電磁波の人々の健康や生活・環境への影響について、京都府の参与会は「特に問題はない」としています。しかし、この参与会の意見は、レーダーの正確な出力さえ分からないまま、レーダーを製造したレイセオン社や防衛省の説明にもとづいて議論を進めるなど、自立的な立場からの科学的検証とは到底言い難いものです。

また、基地建設予定地は国定公園のなかにあり、予定地直下の穴文殊は京都府のレッドデータブックにおいて「緊急に保護を要する地形・地質・自然現象」とされています。また、九品寺の参道のクロマツは府によって「京都の自然200選」に指定されています。基地建設は景観の重大な変更を伴うものであり、それは上述のような府の自然保護・環境保護政策に完全に背反するものです。

防衛省は環境影響評価の必要を認めず、一刻も早い基地の完成を望んでいるようですが、このような態度は断固として批判されねばなりません。京都府として防衛省に対して環境影響評価の実施を強く要求することを要請します。加えて、米軍Xバンドレーダー基地が建設された場合の住民生活、環境、農業・漁業・観光はじめ地域の生業・産業等への影響を自主的に調査し、府民に広く情報を提供することを要請するものです。

沖縄をはじめ在日米軍基地の周辺では凶悪犯罪を含んで米軍が関係する事件・事故が繰り返し引き起こされてきました。経ヶ岬に配備される米軍人・軍属だけは例外だということはありません。地位協定の運用を多少見直すだけでは米軍による事件・事故、米軍犯罪を根絶することはできません。それゆえ京都府に対して、京丹後市と連携し、日米地位協定の抜本的改定を日本政府に対して強く要求していくことを要請します。

さらに、イラク戦争での第一次軍事行動において、米軍はイラクのレーダーを真っ先に攻撃したと報道されていましたが、現代兵器の特徴からレーダーがもつ兵器としての重要性は高く、有事の際に軍事攻撃の標的となる危険性・蓋然性は極めて大きいと言えます。また、いったん基地がつくられてしまった後のなし崩し的な基地強化への懸念も大きく残っています。

以上を踏まえ、私たちは、あらためて貴職に対して、京丹後市での米軍Xバンドレーダー基地建設を受け入れないことを強く申し入れるものです。

**止めよう！経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない
緊急京都府民の会・南部連絡会**

共同代表 大湾宗則 白井美喜子 上岡修 仲尾宏 木原壮林 瀧川順朗
連絡先 075-467-4437 kyogamisaki2013@yahoo.co.jp